

## 会議録

会議の名称	平成23年度 第1回 西東京市誕生10周年記念事業推進委員会
開催日時	平成23年4月22日（金曜日）13時30分から14時00分まで
開催場所	田無庁舎3階 庁議室
出席者	委員：齋藤座長 大河内副座長 石田委員 小西委員 坂口委員、野口委員 （欠席：大島委員、住田委員、尾藤委員、松井委員） 事務局：池田企画部長 森本企画政策課長 藤澤企画政策課主査、掛谷企画政策課主査 山田企画政策課主任
報告事項	1 新委員の紹介について 2 人事異動に伴う事務局体制の変更について 3 前回会議録について
議題等	1 平成23年度事業実施方針の見直しについて 2 その他
会議資料の名称	資料1 西東京市誕生10周年記念事業推進委員会委員名簿 資料2 平成23年度事業実施方針の見直しについて 資料3 平成23年度西東京市誕生10周年記念事業一覧
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>（開会）</p> <p>○企画部長挨拶</p> <p>報告事項について</p> <p>○座長： 報告事項1から3について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>報告事項1 新委員の紹介について</p> <p>○事務局： （資料1に基づき説明） 農業委員会から推薦いただき、本日付けで野口委員が委嘱されたので報告いたします。</p> <p>報告事項2 人事異動に伴う事務局体制の変更について</p>	

○池田企画部長：

4月1日付の人事異動により、企画政策課の柴原課長が企画部財政課長に異動となり、新たに保育課の森本課長が企画政策課長に着任したので報告いたします。  
その他の事務局について変更はありません。

報告事項3 前回会議録について

○事務局：

(資料番号なし 会議録に基づき説明)

○委員：

意見なし。

議題1 平成23年度事業実施方針の見直しについて

○座長：

議題1について、事務局より説明をお願いします。

○事務局：

(資料2、3に基づき説明)

○大河内委員：

商店街イベント等の事業についても、「西東京市誕生10周年記念事業」の冠の取り扱いについて、「西東京市民は東日本大震災で被災された皆さんを心から応援しています。」のコメントを追記したほうが良いのでしょうか。

○事務局：

「西東京市誕生10周年記念事業」の冠使用については各団体の自主性にお任せするところですが、冠を使用される場合は「西東京市民は東日本大震災で被災された皆さんを心から応援しています。」などのコメントを追記するなど、任意に震災への配慮をお願いしたいと考えております。

○小西委員：

趣旨については、事務局説明のとおりだと思います。祝賀から支援へというメッセージを強く出すことと、そこが変更点であることを強調する必要があります。個人的な感想では、ただ沈み込むだけではなく、もともと10周年の誕生日を迎えるというおめでたいことをみんなで祝うという趣旨は当然あったが、今回の震災が起きたことで、一番大事なのは市民意識で、こういった災害に立ち向える力として、日頃から市民は地域の仲間意識を醸成することが重要で、この10周年記念事業がその地域の力や団結力、いざとなったとき一緒に助け合える気持ちを醸成できるように、われわれ委員会からもメッセージを発信できればよいと思います。

○企画部長：

たしかに都市部はコミュニティが希薄になっています。自治会や地域の結びつきが深められるような施策を取っているところではありますが、小西委員の言われるとお

り、事業のコンセプトや意識をその方向性に向けていけば、かなりいい事業が実施できるのではないかと思います。

○小西委員：

図書館イベントで、古い写真や地図を見せることにより、この地に歴史があることすら気付かない市民に、この地にも歴史があって、先人たちが苦勞して開拓し今日の町が出来ていることを、図書館の昔話を語るというような事業を通して、若い人たちや市民に伝えていくことも大事だと思います。

○座長：

実際に地域の活動として、この西東京市をもっと知っていこうという動きが、震災や10周年をきっかけとして広がっているようです。

小西委員の意見のとおり、推進委員として各事業を支援していきたいと思います。

○坂口委員：

自粛が多く閉塞感があるが、祝賀的要素の事業は見直し、震災復興支援につながる要素の事業については積極的に実施してもらいたい。

○石田委員：

祝賀的な事業の中止は致し方ないが、それ以外の事業については遂行していただきたい。

○坂口委員：

10周年というのは当初の計画通り、あくまでも過去から未来へ繋ぐブリッジ事業です。

ここまで来たという祝賀的な目線ではなく、この市のダイナミズムを市民と共に共有して、人にやさしい新たな街づくりを遂行していこうという絆を深める事業です。

ですから、この事業のたがを緩めることなく遂行することが復興から立ち直り、新たな街づくりをしようという地域の人々の応援歌にもなるんですよ。いや、応援歌にしなければなりません。

○企画部長：

委員の方々からいただいたご意見を基に、各事業について実施していきたいと思います。

議題2 その他について

○座長：

議題2について、事務局より説明をお願いします。

○事務局：

「いこいな」のステッカーについては、今後産業振興課が所管する「商店街イベント」事業や店頭への貼付等でご活用いただければと思っています。

次の開催時期については、あらためて各委員にご連絡いたします。

(閉会)